

その土地の個性とらしさをデザイン目線で案内するガイドブック最新刊『d design travel 岡山』10/16(金)全国発売
東京・渋谷ヒカリエと岡山県内、オンラインでも。見て・買って・食べて・笑って… "岡山らしさ" を体験できる企画が盛りだくさん!

D&DEPARTMENT PROJECT (商号:ディアンドデパートメント株式会社) が制作する「ロングライフデザイン(その土地に長く続く個性)」を編集テーマに据えた、47都道府県の観光を1県につき1冊ずつ特集する観光ガイドブックシリーズ『d design travel (ディデザイントラベル)』の28冊目となる「岡山号」が、2020年10月16日(金) 全国発売となります。

発売に合わせ、展覧会や編集部によるトークショー、郷土食を味わう企画や落語会など、本書を立体的に楽しめる連動企画を東京の渋谷ヒカリエと岡山県内、そしてオンラインにて開催予定です。様々な体験を通して、岡山県の個性を伝えていきます。



『d design travel 岡山』のつくり方、たのしみ方

1、地元住民や、旅・デザイン好きの一般参加型による編集スタイル

今年5月、公募で集まった参加者約25名で「岡山らしさ」をオンラインでディスカッション。取材候補地を挙げる公開編集会議で制作をキックオフしました。その後もSNSやYouTubeで制作過程をシェアしながら、県内外からリアルタイムで情報を寄せていただきました。

2、まずはいち旅人として体験する、覆面取材

6月から8月上旬まで約2ヶ月間、編集長が現地に住み込んで250箇所以上を訪れ、暮らすように県内を巡り、実際に体験し感動したものだけを選定。選定後に初めて取材申し込みを行いました。

3、“体験してこそ”の岡山号

東京・渋谷ヒカリエ「d47」と岡山県内、そしてオンラインで、トークショーやスタンプラリー、落語会など、本書だけに留まらない様々な企画を展開します。



裏表のない、“晴れの国”の豊かな暮らし。

桃太郎という“仕事”と、鬼という“暮らし”。物語には対極の生き方が存在するが、岡山県の人々の中には、表も裏も、オンもオフも、分け目のない総括した生き方がある。それは「晴れの国」という安堵感がそうさせもし、サステナブルな地域づくりへの意識も高い。いいも悪いもなく、誰もが自由な生き方をしたっていい。

『d design travel』編集長 神藤秀人

『d design travel 岡山』概要

- 定価 1,900円+税 / ● 出版元 D&DEPARTMENT PROJECT
- 発売日 2020年10月16日(金)
D&DEPARTMENT webサイトで予約受付中。9/18(金)よりd47及びD&DEPARTMENT各店ほかにて順次先行発売。
- 様式 B5変形判、192ページ、フルカラー、日英併記
- 販売場所 全国の書店・ライフスタイルショップ・ミュージアムショップ・Amazon・D&DEPARTMENT各店
- 表紙 『鬼』五味太郎

岡山号特集webサイト：https://www.d-department.com/item/D_DESIGN_TRAVEL_OKAYAMA.html

メディア関係者様向け提供画像ダウンロード：<https://bit.ly/30fASeZ>

● 『d design travel』では、今回の岡山号の制作より、クラウドファンディングを実施しました。このシリーズの本質は、単なる旅行ガイドではなく、旅を通して「地域で頑張っている企業やお店の姿を伝えていく」こと、そして「地域の“らしさ”や“個性”を守ろうと呼びかけていく」ことにあります。ただ資金を調達するだけの手段ではなく、ロングライフデザインを応援しようと同じ方向を目指す仲間とコミュニティをつくり繋いでいくことを目的として、本書の活動を必要とくださる方々をサポーターとして募り、4/13(月)から6/30(火)の79日間で、513人・総額5,820,000円のご支援をいただきました。編集部の、シリーズ制作とクラウドファンディングへの想いについて、詳しくは以下URLよりご覧ください。：<https://readyfor.jp/projects/dokayama>

—本件に関するお問い合わせ—

D&DEPARTMENT PROJECT 広報 清水 03-6427-2301 / pr@d-department.jp / www.d-department.com

● d design travel 編集、7つの考え方

1. 必ず自費でまず利用すること。実際に泊まり、食事し、買って、確かめること。
2. 感動しないものは取り上げないこと。本音で、自分の言葉で書くこと。
3. 問題があっても、素晴らしければ、問題を指摘しながら薦めること。
4. 取材相手の原稿チェックは、事実確認だけにとどめること。
5. ロングライフデザインの視点で、長く続くものだけを取り上げること。
6. 写真撮影は特殊レンズを使って誇張しない。ありのままを撮ること。
7. 取り上げた場所や人とは、発刊後も継続的に交流を持つこと。



※中面ページ例：dマークレビュー(画像は愛媛号より)

● 取材対象選定、5つの考え方

1. その土地らしいこと。
2. その土地の大切なメッセージを伝えていること。
3. その土地の人がやっていること。
4. 価格が手頃であること。
5. デザインの工夫があること。

● 主な内容：dマークレビュー

『d design travel』最大の見どころ。観光、レストラン、買い物、カフェ、宿、人、の6つのカテゴリーごとに最大4箇所ずつ厳選し、その土地を代表する、ロングライフなスポットや取り組みを掲載しています。



その土地らしさを感じる観光スポットで、メッセージ性があり、長く続いている場所。

観光

- ・大原美術館（倉敷市）
- ・犬島精錬所美術館（邑久郡）
- ・特別史跡 旧閑谷学校（備前市）
- ・每来寺（真庭市）



伝えたいメッセージを持つオーナーによる、その土地らしいカフェやバー。

カフェ

- ・belk（倉敷市）
- ・マルゴデリ 田町店（岡山市）
- ・三村珈琲店（井原市）
- ・ルーラルカプリ農場（岡山市）



地域の食材を使い、地元の人がやっていて、美味しいだけでなく、デザインを感じる食事処。

レストラン

- ・MUNCH'S Pizzeria（瀬戸内市）
- ・蒜山耕藝 くと（真庭市）
- ・Bricole（倉敷市）



その土地らしさを体験できる建築やサービスによる宿泊施設で、価格も適正であるホテルや旅館。

宿

- ・旅館くらしき（倉敷市）
- ・滔々（倉敷市）
- ・町家ステイ吹屋 千枚（高梁市）
- ・名泉鍵湯 奥津荘（苫田郡）



地域の特性を活かしたお土産を購入できる店。

買い物

- ・くらしのギャラリー 本店（岡山市）
- ・domaine tetta（新見市）
- ・ようび（英田郡）



地域のキーパーソンで、文化創造や地域活性に繋がる活動を積極的に行っている人物。

人

- ・牧大介（エーゼロ／西粟倉・森の学校）
- ・山脇耀平・島田舜介（EVERY DENIM）
- ・外村吉之介（倉敷本染手織研究所）
- ・石川昌浩（石川硝子工藝舎）

● 特集

- ・サステナブルな村～岡山県の奇跡のような活動～

移住者による起業、そして子どもが増え、全国からも地方創生の視察者が多く訪れる岡山県の北東の端にある「西粟倉村」。自然と人間とが共存し、これから50年、いや100年先を見据えた持続可能（サステナブル）な暮らし方とは何なのか——日本中のみみんなが手本にしたいロングライフな未来の生活が、そこにはありました。

- ・時間や手間や愛情をかけて作るもの～岡山県のファッションは今～

岡山県の繊維産業は、江戸時代の「真田紐」や「小倉帯地」から足袋、そして学生服・作業服の生産と生活様式の変化に合わせ、それまでに培ってきた技術を活かしながら発展してきました。ジーンズや帆布工場、そして「倉敷本染手織研究所」を訪ねた編集部が、岡山県の繊維産業の“今”をご紹介します。

- ・備前焼～岡山のものづくりを楽しむ～

備前の土、備前の地で作られる「備前焼」。釉薬を一切使わず、高温で長時間焼き締めるのが特徴で、投げても割れないと言われるほどの頑丈さ。茶色くて重くて高価で…なんか歴史的？そんな備前焼のイメージを覆す素敵な作家も増えていて、ぜひお気に入りの作家を探してみたい。編集部が出会った、備前焼作家4名を紹介します。

● 連載

- ・深澤直人(プロダクトデザイナー)/デザイナーのゆっくりをききたい 第45回「切り身／モノの厚み」
- ・坂本大三郎(山伏)/47都道府県にあるロングライフな祭り 第17回、岡山県「桃太郎と神話」
- ・高木崇雄(工藝風向 店主)/47都道府県の“民藝” 第16回、岡山県「『セルフメイド』な人々」

その他、編集部が見つけたその土地では当たり前となっている独特な習慣を紹介する「岡山のふつう」や、「岡山定食」開発から感じた県独自の食文化、滞在取材を経て見聞きし体験したその土地らしさを綴る「編集部日記」など、掲載地はおよそ70箇所。さまざまな切り口から“岡山らしさ”を伝えます。

● 連動企画

各企画の詳細やオンラインで楽しめるコンテンツは、随時webやSNSで発信していきます。また、この内容は、今後の社会情勢により変更となる場合があります。最新情報はwebサイトをご確認ください。

1. 本書を立体的に表現する展覧会「d design travel OKAYAMA EXHIBITION」

掲載地で実際に使用されている仕事道具や備品、装飾品などを展示し、現地の魅力を再現する展覧会です。東京・渋谷ヒカリエのd47 MUSEUMにて、9月18日(金)-11月30日(月)まで開催。詳細はプレスリリース最終頁をご覧ください。

2. 郷土の味をぎゅっと詰め込んだオリジナルメニュー「岡山定食」が登場

d47食堂の料理人が岡山県を旅して、名物や伝統料理を食べ歩き、生産者に取材して開発した定食が、期間限定で登場。備前ばら寿司、イシモチの唐揚げ、ガラエビ出汁の茄子の煮浸し、大手まんぢゅうの蒸し直し、黄ニラの味噌汁などが並びます。

提供期間 9月11日(金)-11月30日(月) 予定

価格 1,980円(税込) / 場所 d47食堂(渋谷ヒカリエ8F) / 電話 03-6427-2303

3. 岡山号制作の舞台裏と岡山の食を楽しむ「d design travel show」と「岡山を食べる会」

編集部が本書と連動企画にまつわる制作裏話を、取材時に撮りためた写真などを見せながら語りつくすトークショーと、岡山ならではの食やお酒をコース仕立てで堪能できる企画です。詳細はwebサイトで公開します。

・d design travel show：日時 10月1日(木)18:30-19:15 / 場所 COURT(渋谷ヒカリエ8F)

・岡山を食べる会：日時 10月16日(金)-18日(日) 各日18:00- or 19:00- の選択が可能 / 場所 d47食堂(渋谷ヒカリエ8F)

4. 編集部の足取りをたどる「d編集部の岡山ぐるぐる」

本書掲載の「dマーク」各地に岡山号を持参すると、オリジナルスタンプが押せるスタンプラリーです。開催期間は決定し次第webで公開します。

5. 岡山県をテーマにした創作ご当地落語を披露「d47落語会 岡山県」

落語家・柳家花緑が、脚本家・藤井青銅書き下ろしの新作となる岡山落語を、洋服で椅子に座り現代の言葉で演じる「同時代落語」のスタイルで披露します。『d design travel』発行人のナガオカケンメイと編集長の神藤秀人を聞き手に、2人が岡山落語の誕生秘話を語るアフタートークと合わせて、岡山の魅力を笑いを通して感じられる企画です。詳細はwebサイトで公開します。

演目：古典落語1席、岡山落語1席、アフタートーク

・東京会場 日時：11月26日(木)、27日(金) 20:00-22:00 / 場所 COURT(渋谷ヒカリエ8F)

・岡山会場 日時：11月12日(木) / 場所 岡山県内 ※後日、オンラインでの動画配信あり

d47落語会webサイト：https://www.d-department.com/item/D47_RAKUGO.html / 問合せ：03-6427-2301(d47)

● 『d design travel』とは

『d design travel』は2009年創刊し、これまでに27都道府県を発刊。毎号、地域住民との公開編集会議を皮切りに、約2ヶ月間の現地取材を行う。各号の取材と、東京と特集県内で連動する企画を通して、47都道府県の独自の個性を改めて整理し、発信することで、日本各地にあるその土地らしいクリエイションを見つめ直し、その価値を継承する意識を持つきっかけを与える、これまでのトラベルガイドには無い機能をもつ書籍として展開している。

(左上から右へ順に)

- 1.北海道、2.鹿児島、3.大阪、4.長野、5.静岡、6.栃木、
- 7.山梨、8.東京、9.山口、10.沖縄、11.富山、12.佐賀、
- 13.福岡、14.山形、15.大分、16.京都、17.滋賀、18.岐阜、
- 19.愛知、20.奈良、21.埼玉、22.群馬、23.千葉、24.岩手、
- 25.高知、26.香川、27.愛媛

※鹿児島と静岡は増補改定版を、東京は改訂版を、初版後それぞれ出版。表紙画像は最新版のもの。



● D&DEPARTMENT PROJECT(ディアンドデパートメントプロジェクト)とは

2000年にデザイナーのナガオカケンメイによって創設された「ロングライフデザイン」をテーマとするストアスタイルの活動体。現在は国内外に10店舗(北海道、埼玉、東京、富山、京都、鹿児島、沖縄、韓国・ソウル、韓国・済州、中国・黄山)を展開。47都道府県に1か所ずつ拠点をつくりながら、全国的な規模で「息の長いその土地らしいデザイン」の発掘と紹介をしている。2009年『d design travel』創刊、2012年渋谷ヒカリエ8階に日本初の47都道府県のデザイン物産ミュージアム「d47 MUSEUM」をオープン。併設の「d47 design travel store」「d47食堂」と連動し、立体的に日本を伝える新しいスタイルを創造。物販、飲食、出版、観光を通して47の日本の“らしさ”を見直す活動を展開している。

岡山県の個性を「デザイン」と「旅」の視点から見る展覧会 9/18(金)～11/30(月) 渋谷ヒカリエで開催



名称 d design travel OKAYAMA EXHIBITION
 会期 2020年9月18日(金)～11月30日(月) 11時～20時 入館は19時30分まで ※水曜休
 会場 d47 MUSEUM (ディ ヨンナナ ミュージアム) 東京都渋谷区渋谷2-21-1渋谷ヒカリエ8階
 入場料 無料 / 主催 D&DEPARTMENT PROJECT
 電話 03-6427-2301 (d47 MUSEUM) / URL www.d47museum.com

d47 MUSEUMでは、9月18日から11月30日まで「d design travel OKAYAMA EXHIBITION」を開催します。デザイン目線で日本各地の長く続くその土地らしい個性を案内するトラベルガイドブック『d design travel 岡山』の10月16日(金)全国発売を記念し、紙面だけでは収まりきれない現地の魅力を立体的に伝えます。

編集部が徹底取材した“その土地らしさ”を、現地で実際に使用されている仕事道具や備品、装飾品などを展示し再現します。例えば、「町家ステイ吹屋」からベンガラ製造の道具、木工メーカー「ようび」からはヒノキ家具や原料の丸太、「犬島精錬所美術館」からは銅製錬所のカラミ煉瓦など、さまざまな展示を予定しています。紙面から飛び出したような数々の展示品の独自のデザインから、編集部が、歩き、見聞きし、食べた“岡山の今”を感じ取って、その魅力を再発見し、実際に岡山県を旅したくなるきっかけをつくります。

会場では全国発売に先駆け、岡山号を先行販売します。先着で、本書には収まり切らなかった情報が満載の、編集長による手書きの「らくがきMAP」をプレゼント。また、編集部おすすめの岡山の手土産が買える期間限定ストアが登場。倉敷本染手織研究所の倉敷ノッティングやEVERY DENIMのデニム服、須浪亭商店のピンかごや、備中和紙の文具用品、本書内で紹介する作家たちの備前焼を始め、koti breweryのビールやdomaine tettaのワイン、きびだんご、桃や苺のジャム、蒜山耕藝の麦米や味噌などの美味しい手みやげまで購入できます。併設のd47食堂の新メニュー「岡山定食」も合わせて、本を読み、展示を見て、商品を手にとり、郷土料理を食べ…と、岡山の魅力を五感を通して感じられる企画です。

会期中には、編集部が取材や展示の舞台裏を語るトークショーや、岡山の食が堪能できるイベント、岡山をテーマにした新作落語を披露する「d47落語会 岡山県」も開催します。展示だけに留まらず、様々な角度から岡山らしさを体験できる企画を開催していきます。関連企画の詳細やオンラインで楽しめるコンテンツは随時webやSNSで発信していきます。

「d47 MUSEUM」は、2012年4月26日、渋谷ヒカリエ8階に、日本初の“47都道府県デザイン物産ミュージアム”としてオープン。建築、デザイン、工芸、食、ファッション、農業、自然環境など、あらゆるジャンルからテーマを選び、オリジナルのキュレーションと編集で、世界に向けて“日本の今”を発信していきます。

<参考> d design travel 編集部 YouTubeチャンネル <https://www.youtube.com/channel/UC7Zcv-XZPkNahdHxpZ5PCgg/videos>

視聴可能動画例

- ・愛媛展の様子(～8/31まで開催中)、編集長の音声ガイダンス付きで鑑賞できる動画
- ・前号の愛媛号、編集長が制作裏や同書の見所を語る「ひとりでトラベルショー」動画
- ・岡山県からゲストをお招きし、WORKSHOPの予習編として編集長が事前リサーチをした、全6回の【ONLINE TALK】
 ゲスト：ココホレジャパン・アサイアサミさん/EVERY DENIM・島田舜介さん&山脇耀平さん/奥山いちご農園・奥山太貴さん
 ジモコロ編集者・友光だんごさん/須浪亭商店・須浪隆貴さん/一文字うどん・大倉剛生さん
- ・オンラインで開催した、地元住民参加型の公開編集会議「WORKSHOP OKAYAMA」ダイジェスト
- ・現地取材の様子ダイジェスト

—本件に関するお問い合わせ—

D&DEPARTMENT PROJECT 広報 清水 Tel: 03-6427-2301 / pr@d-department.jp